



育てた野菜の売り上げを募金に

報告者 和歌山県古座川町立高池小学校 大畑 眞先生

ポイント

古座川町立高池小学校は、約30年前から野菜の栽培を続けています。いままでは、収穫された野菜は、調理実習に使用してきましたが、昨年（2007年）は、栽培した野菜を販売しその売上金を募金しようということになりました。今年3月、6年生が無農薬栽培で育てた大根とホウレンソウを無人販売所で売りました。売り上げ金6000円は、ユニセフに募金しました。この取り組みは、毎日新聞に掲載されました。



みんなで協力して、野菜を育てました。



無人販売所も自分たちで作りました



立派な大根が収穫できました



袋に入れた大根とホウレンソウを並べます。



大根は、2本100円で売ることになりました。



お客さんが買っています。



収穫したホウレンソウを水で洗います。



品物も残り少なくなりました。

感想

6年生が心を込めて育て、収穫し、袋につめ、販売した野菜。廃材を利用した無人販売所も子どもたちの手作りです。子どもたちは、「売れたときは最高に嬉しい。新年度は5年生に引き継いでほしい」と語っていました。来年度も新6年生が、この企画を引き継いでくれます。ジャガイモを育てる予定です。